

ゴール7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに

令和4年度
大阪府SDGsビジネス創出支援事業
SDGsビジネスマップ

廃材ガラスをアートへ、 輝く未来を子ども達と手に入れる！



プレゼンターからの一言

あらゆる世代や業態へのアプローチが可能なガラスアートです。たくさんの方に知ってもらい、大阪から世界へむけた環境保全の取り組みを、更にはたとえ危険と言われているガラスでさえも、変化の仕方によっては宝物へと変えられる！すべての物事は無限大の可能性を秘めているということを伝え、目に見える形として作り上げていきたいと思ひます。

| | | | |
|-------|---|------|-----|
| 企業名 | 一般社団法人日本フォトガラスアート協会 | | |
| 所在地 | 東京都青梅市 | 資本金 | － |
| 設立 | 2012年1月 | 従業員数 | 20名 |
| 企業URL | http://japan-pga.com | | |
| 事業内容 | フォトガラスアート教室運営、D I Y 材料キットおよびフォトガラスアートの販売等 | | |

解決したい社会課題・地域課題の背景や内容

- 廃棄されるビン類をいかに活用できるかが課題である。
- リサイクル意識や環境意識への関心度が高まっている。

SDGsビジネスが与える社会課題解決への影響

- 廃材ガラスをアートとしてよみがえらせることで新たな価値を生み出すことが出来る。
- ガラスアートの体験学習を通してリサイクルの重要性を学ぶことが出来る。

SDGsビジネスの内容・ビジネスモデル

- 廃材ガラスをリサイクルガラスビーズに特許技術により加工。
- そのビーズを使ったリサイクルガラスアート体験を全国の小学校や行政、企業等に提供する。
- 写真：直近の練馬区管轄の集英社様からのご依頼の講座の時の内容



製品・サービスの特徴・強み、導入実績

- 現在全国の小学校において環境学習授業を実施中。
* 小学校での写真は掲載不可のため行政での講座の写真を掲載していますが、このような感じで実際に学校を訪問し、環境学習授業や、図工などの授業などの一コマとしてご提供しております。



OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

行政や国の機関とのつながりを持ち、環境×教育×芸術を体験を通して未来を担う子ども達を中心に地域社会に根ざしながら伝えて行くことを念頭に活動してまいります。ビジネスマッチング後の成果としましては、間接的に成果として感じられることが起こり始めており、登壇できましたことに感謝申し上げます。